

## 諏訪湖イベントひろば基本計画（案） パブリックコメントに対する市の考え方概要

- 産業振興機能（工業・ものづくり分野）を重要視することについて
  - ・工業は市の基幹産業であり、市民生活、社会基盤整備等含めた諏訪市の活力を支え続けてきた重要な分野である。
  - ・また、諏訪湖イベントひろばには「諏訪ものづくり発祥の里」というモニュメントが現に存在するとおり、あの場所は古くから工業・ものづくり分野にとって重要視されてきた土地である。
  - ・産業振興分野（工業・ものづくり分野）を軸とするが、コミュニティ、観光、医療健康という「機能同士の掛け合わせによる新たな価値創造の実現」を目指していく。
  - ・機能効果を生かすためには、全体を把握しまとめ上げる機能も必要となる。意見いただいた総合プロデューサーの設置を含めてどのような機能が必要か今後検討していく。
- 地元の企業や住民の参画について
  - ・事業化に向け、地元の担い手は重要な要素と認識しており、今後の方針にも、地元の自発的関与を実現するための手法や条件についても引き続き検討していく旨を記載している。
  - ・大企業、地域外企業、地元企業、それぞれに強みと弱みはある。現時点では、意欲のある担い手には公平に参入の可能性はある。
- 現建屋について
  - ・現建屋を市が保存活用することは、自治体規模に対し負荷が大きすぎることから取り壊しの方向である。
  - ・ただし、民間事業者が修繕～運営までを自ら担い、活用するということがあれば検討の可能性はある。
- 新たなイベントスペースについて
  - ・3,000㎡は上限の設定。活用の実態に合わせた規模や構造とする必要がある。
  - ・建物の整備が注目されがちだが、重要なものはハコではなく中身、ソフトであることを大前提とする。
- 環境への配慮について
  - ・今後、環境への配慮は必要不可欠な時代に突入する。技術革新や環境への配慮といった新たな時代の流れを汲むことが必要である。
  - ・環境への配慮とともに、費用についても配慮が必要である。見た目への過剰なこだわりや高額な維持費・修繕費の発生を避ける必要がある。この二つを両立することが、持続的な施設の整備につながる。また、新たな価値創造につながる可能性も大いにある。